

富士山麓の植物Ⅲ

——宝永火口周辺——



裾野市教育委員会
裾野市立富士山資料館

目 次

発刊のことば

裾野市教育委員会教育長 芹澤 仁

宝永火口について	4
宝永火口周辺の自然	13
宝永火口周辺の植物	21
■スノキ	22
■オオカメノキ	22
■ハウチワカエデ	23
■オオツリバナ	24
■ミヤマナルコユリ	24
■カラマツ	25
■ダケカンバ	25
■ナナカマド	26
■ミヤマハンノキ	27
■コケモモ	28
■シロバナノヘビイチゴ	29
■タカネバラ	30
■ミヤマザクラ	30
■タケシマラン	31
■コミネカエデ	32
■ハクサンシャクナゲ	33
■ヤマウコギ	33
■ミヤマヤナギ	34
■ミヤマガマズミ	35
■マイヅルソウ	35
■アオヤギソウ	36
■ツバメオモト	37

■イチヤクソウ	38
■ハナヒリノキ	39
■フジハタザオ	39
■コタヌキラン	40
■ムラサキモメンヅル	41
■クルマバツクバネソウ	42
■オニク	43
■テガタチドリ	44
■ミヤマフタバラン	45
■クルマユリ	46
■トンボソウ	47
■イワツメクサ	48
■ミヤマハンショウズル	49
■タカネニガナ	49
■ベニバナイチヤクソウ	50
■オンタデ	51
■イワオウギ	52
■タイツリオウギ	53
■メイゲツソウ	53
■ヤマホタルブクロ	54
■タカネグンナイフウロ	55
■トウヒ	56
■ヒメノガリヤス	56
■ジンヨウイチヤクソウ	57
■ヒメシャジン	58
■オオヨモギ	59
■ヤハズヒゴダイ	60
■クサボタン	61
■フジアザミ	62
■ヤマハハコ	62

■ミヤマオトコヨモギ	63
■ダイモンジソウ	63

十里木周辺～水ヶ塚

■フッキソウ	66
■ツルウメモドキ	66
■エイザンスミレ	67
■アキノキリンソウ	68
■ミヤマキケマン	68
■ツチアケビ	69
■トチバニンジン	70
■オオヤマサギソウ	71
■フジウツギ	72
■ヤブタデ	73

さくいん	74
あとがき	76

■=草 花

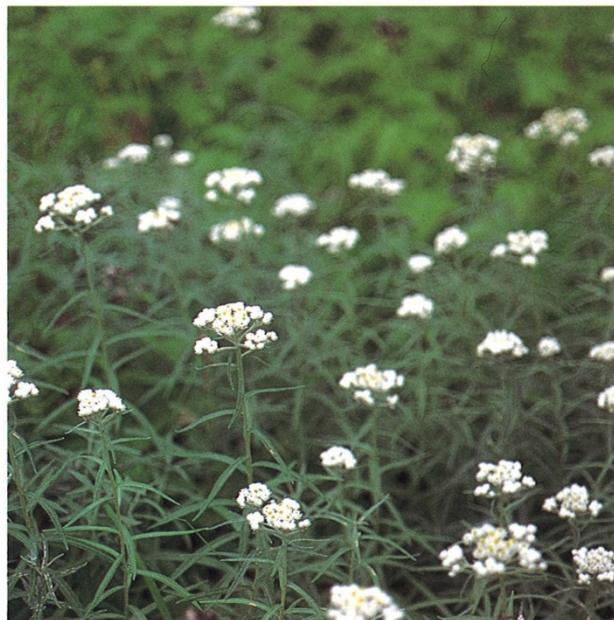
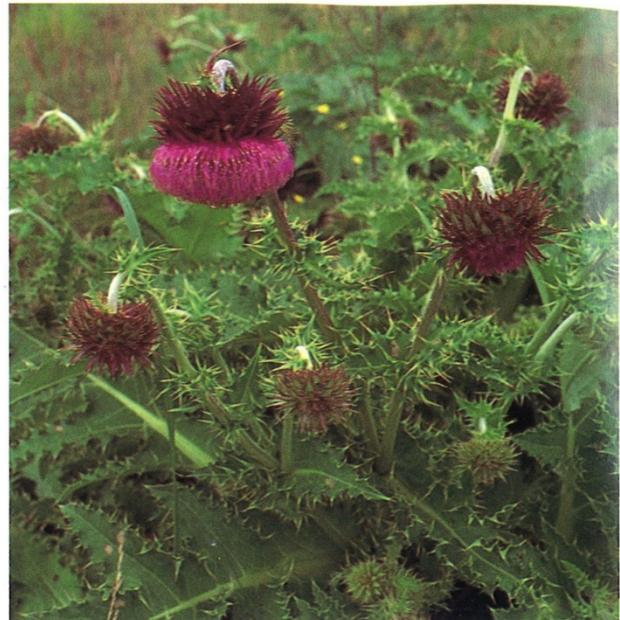
■=つる植物

■=樹 木

フジアザミ (キク科)

花期 8～9月

富士山を代表する植物で、4合目より下の日当たりのよい砂礫地に生え、根は太く地中に長く伸びる。日本のアザミの中で最も大きな花を咲かせ、径10cmになるものもある。



ヤマハハコ (キク科)

花期 8～9月

本州中部地方より北の日当たりのよい山地や高原に生える。高さ50～60cmで、富士山では山麓から5合目までみられるが、表富士周遊道沿いには特に多く、群生することがある。

ヤマホタルブクロ
(キキョウ科)

花期 7～8月

本州中部の山地に生え、高山になるほど小さい。ホタルブクロとよく似ているが、がくの切れこみの間に反り返った部分がなく、花の色が紅紫色であるのが区別できる。

